



龍郷町立龍南中学校学校便り

令和4年9月22日号

インプットからアウトプットへ

校長 碓山 信行
42日間の夏休みも終わり、事件や事故に巻き込まれる生徒がおらず、元気な顔を見ることができました。夏休み恒例の貝殻採集、植物採集、自由研究、図画作品など大きな作品を抱えながら登校する姿も多く見られましたが、今年度はタブレット型パソコンを持ち帰り、教員がインターネット上で宿題を出し生徒がインターネット上で提出する宿題もありました。また、夏休み中には、県吹奏楽コンクールで吹奏楽部が金賞を受賞し、全国中学校総合体育大会相撲の個人戦で3年生の俵君が決勝トーナメント出場を果たしました。その他、野球部が新潟県佐渡市で行われた離島甲子園に出場し素晴らしい経験となりました。応援や御支援ありがとうございました。



さて、2学期が始まり龍郷町自由研究発表会がありました。小学生の発表も見事でしたが、2年生の鈴木さん、朝さんの発表は、実験方法、考察、まとめ等も分かりやすく、堂々とした発表に、「さすが中学生」と感心しました。



さて、本校の授業について、先生方へお願いしていることがいくつかあります。その中の一つに、「教師の説明20%カット」があります。中学校の授業では理解させたい分からないところを説明してあげたいなど一方的に教師の話が多くなりがちです。そこで、教え込む（インプット）を減らし、分かったこと、考えたこと、悩んだことなどを外に出す（アウトプット）場面をたくさんつくるよう願っています。

地域行事にも参加したい・参加させたい

2学期は学校行事がたくさんあります。行事は、生徒にとって、たくさんの学びの場であると同時に、自分の持てる力を存分に発揮する（アウトプット）場でもあります。そこに感動や喜びが生まれ、さらに夢や希望に繋がると信じています。

私は、中学生の頃、親に対し反抗的な態度を取っていました。しかし地域のおじさんやおばさんの言うことは良く聞いていました。それは、たくさんの行事に参加させていただき、たくさんの感動をいただいたからだと思います。

今年こそ、地域の行事が開催できますことを楽しみに、生徒の参加を呼びかけてまいります。

SOSの出し方授業

7月20日（水）自分がかけがえのない大切な存在であることに気付くとともに、ストレスへの様々な対処方法を理解し、現在起きている危機的状況、または今後起こり得る状況に対応するための援助希求行動（周りに助けを求める行動）について考えることをねらいとしてSOSの出し方授業を実施しました。



一斉に

ペアで

グループで

子ども人権プロジェクト

9月1日（木）に鹿児島県教育委員会人権教育課の村田先生をお迎えして「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができ、人権感覚を身につけるために必要なことを、様々な事例を参考に教えていただきました。

特に大切なこと

- ① 相手と話すこと
- ② 相手の話を聞くこと
- ③ 相手のことを認めること



～人権教育 多様な性について「LGBTQIA」～



9月6日（火）に養護教諭が、1年生に対しLGBTQIA（ジェンダー）についての授業を行いました。今や「13人に1人は性別について悩んでいる人がいる」と言われています。人とちがうことはダメなことではなく、個性を尊重し合える世の中に変えていきたいという思いが伝わってきました。

学級弁論大会

9月10日（土）

各学級で弁論大会が開催されました。6月から準備を進めてきました。なかなか仕上がらない生徒もいましたが、夏休みの間に、学年担任や国語科担当の指導を受け、どうにか仕上がりました。



当日は保護者も参観することができ、緊張する中で自分の思いを堂々と発表していました。

生活リズムの確立

また、2学期が始まり朝食を食べてこない生徒が、まだいるようです。アンケート等を実施し、家庭とも連携を図り、「早寝・早起き・朝ご飯」のリズムを確立するように御協力をお願いします。

PTA朝のあいさつ運動への御参加ありがとうございました

日	曜	行事等
4	火	第3回子ども人権講話
6	木	地区中学校駅伝大会
7	金	スクールカウンセラー来校
8	土	土曜授業「親子ふれあい作業」
13	木	文化祭・校内弁論大会・合唱コンクール
18	火	鹿児島大学教職大学院生実習（～21日）
24	月	3年生実力テスト
29	土	吹奏楽部定期演奏会

